

かながわ商店街新聞

NO.334

●発行所—社団法人 神奈川県商店街連合会

〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センター3F Tel.045(633)5184

http://www.kenshoren.com/ ●発行人—和田 義盛 ●年5回発行 1部:200円/年間:1,000円

エコポイント 対象商品

(エコポイント対象商品告知ラベル)

消費者が使うエコポイントの費用は国の基金から供出されるため、まさに国の経費で地域の消費拡大を見込めることになる。

■制度の期間とスケジュールは？

対象商品の購入でエコポイントもらえるのは来年三月三十一日までとなっております。あと半年ほどである。(商品の交換は)

■エコポイントって何？

消費者が、対象商品の「エアコン」「冷蔵庫」「地上デジタル放送対応テレビ」のいずれかを買いと数千ポイントの「エコポイント」を得られる。それを何らかの商品や商品券と交換できる制度である。

政府では専用ホームページを用意し、地球温暖化対策と経済の活性化、地上デジタル対応テレビの普及を図るためと銘打ってこの制度の普及を図っている。

景気対策を活用しよう！ エコポイントで目指せ地域の消費拡大

「エコポイント制度」は、百年に一度ともいわれる不況を乗り越えるために打ち出された景気対策の一つである。

2頁
●「地域商店街活性化法」が成立

3頁
●商店街活性化研修会
●賛助会員・推薦会社との交流会を開催

4頁
●川崎市商連尾澤会長に聞く

5頁
●21世紀のまち商店街のいま【入船商興会】

6頁
●戸塚の新名物「とっぴちゃん」登場！
●岡野副会長を祝う会

7頁
●商店街支援事業レポート【登戸東通り商店会】
●教えて！身近な税務相談③

8頁
●商店街への加入促進のうごき
●県商連、公益社団法人への申請

平成二十四年三月三十一日まで

エコポイントで交換できる商品等の募集は六月～七月の間に行われ、八月現在、県内の地域型商品券は「返子しおかせカード商品券」と「湯河原温泉地域商品券」の二つが採用されている。(※三次募集が行われるかどうかは未定)

■返子市と湯河原町の取扱状況は？

返子しおかせカード商品券(市内百六十店で使用可)、湯河原温泉地域商品券(町内百九十二店で使用可) いずれも、申込みや問い合わせが寄せられている。

地域の電器店を中心に、お客のエコポイント申請をサポートするサービスも行っており、出だしはまずまず。

返子からは、商品交換の有無よりも、良い宣伝効果になったと喜びの声が聞こえてきた。全国紙にも取り上げられ、近隣の市町村からの申込みもあったからだ。(返子市商工会、菊池さん)

湯河原では、十二月に一割のプレミアムをつけた限定商品券を発売し、交換商品とするため、お客には少し待ってもらうことになるが、それでも宿泊に使えるのならと町外のお客にも好評だということだ。(湯河原町商工会、原さん)

何しろこの不況である。行政の支援制度に乗るにもスピードを要求されることも多い。だがその分、受けられる恩恵も大きいのだ。不況を乗り越えるには商業者としてアンテナを立てておくことも求められている。

ぷちゅれっちょ! ケータイでらくらく操作 サポートお任せ下さい! 商店街・チェーン店共同利用OK! を活用して顧客層拡大にチャレンジしてみませんか?

ご契約者様に、あなたのお店・商店街のケータイ用ホームページを

無料で作成キャンペーン実施中

※ご利用にあたり諸条件がございます。詳しくはホームページをご覧ください。

稼働実績

川崎 長沢商店会様

川崎・南生田 おからパンのおとぎばなし様

川崎・福田堤商店街 お惣菜 ひしかわ様

詳細はこちら

http://kokorobi.jp/

電話番号

044-742-2013



ぷちゅれっちょ! は、皆様がお持ちのケータイから、お店・商店街の情報発信やクーポン作成、商品・在庫の公開・予約、メルマガの発信、抽選の作成が出来る大変便利なサービスです。お客様は、ケータイやメールでお店や商店街のお得情報を手に入れることが出来るようになります。

心の帯で人・ITをむすびます。

KOKOROBi 心美

メール
住所

puchuinfo@kokorobi.jp
川崎市多摩区長沢4-16-44

劣勢にある商店街を救え

「地域商店街活性化法」が成立

「地域商店街にも、国庫補助体制で2／3の補助」

商店街が全国的に疲弊し、地域経済の存亡に関わる事態となっている中で、「地域コミュニティの担い手」としての商店街に対し、行政が重点的な支援を行うために「地域商店街活性化法」が施行された。

商店街が、地域住民の生活や交流向上を促進するための「担い手」であるから支援するという点がポイントで、このコンセプトに沿った事業であれば手厚い補助を受けられる仕組みとなっている。

ここ数年の傾向だが、ハード整備からソフト事業支援を重点的に行う方針に変わってきている。地域イベントや、商店街ブランド開発も対象になることが目新しい点だ。

商店街に係る人材の育成、確保は後述の「(株)全国商店街支援センター」が研修等幅広く実施していくとのことなので、活動に期待したいところである。

【法の趣旨は四つの柱】

- ソフト事業も含めた商店街活動への支援強化
- 地域のニーズに沿った空き店舗利用を支援
- 商店街の意欲ある人材を育成・確保
- 関係省庁・地方公共団体と連携した支援

【具体的には① 補助制度の拡充】

商店街の組合(振興組合・事業協同組合)等が、地域住民のニーズに応じて実施する活性化への取り組みについて「商店街活性化事業計画」を作成し、各ブロックの経済産業局で認定されれば、その事業に2／3の補助を受けられるというもの。

従来からあった「中小企業活力向上補助金」の1／2補助の補助率が引き上げられた結果である。

宅配、買い物サポート、地域イベント、ブランド開発などのソフト事業から、地域交流施設、共同店舗、アーケード、街路整備などのハード事業などが対象として例示されている。

【具体的には② 認定商店街の側面支援】

認定された事業を行う土地を譲渡した者に対しては「譲渡所得の特別控除」、小規模企業者には「設備資金貸付(無利子)の貸付割合」が2／3に引き上げられた。

また、こうした商店街を支援するための「商店街活性化支援事業計画」を作成した、一般社団法人やNPO法人に対しても同様の認定制度が創設され、この団体は中小企業者と同じ条件で信用保証協会から保証を受けられるようになる。

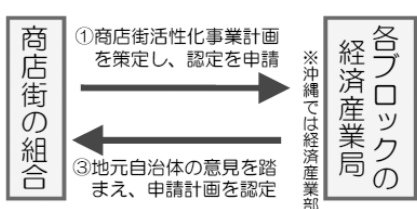
【具体的には③ 高度化融資制度の拡充】

市町村が、認定事業者に対して事業実施に必要な資金を無利子貸付けする場合に、(独)中小企業基盤整備機構が当該市町村に対してその貸付資金の一部(80%まで)を貸付できるようになる。

【具体的には④ 人材育成などの側面支援】

商店街の人材育成を国の責務と規定し、「(株)全国商店街支援センター」が各種セミナー等を全国で実施し、ノウハウ提供等の事業を支援する。

同支援センターは、全国商店街振興組合連合会、全国商工会連合会、日本商工会議所、全国中小企業団体中央会が共同して設立したもので、人材研修、起業支援、支援人材の派遣(大手流通企業のOB活用)、商店街活性化手法・ノウハウの提供・普及などの事業を行っていく予定。



緊急保証制度 実施中

※ご利用には市町村長の認定が必要です。また、認定の取得が保証や融資の決定ではありません。審査の結果、ご希望に添えない場合がありますので予めご了承ください。

神奈川県信用保証協会は 中小企業の皆さまの 資金繰りを強力にサポートします！

保証商品の詳しい内容について、金融や経営のご相談などお気軽にお問い合わせください。

神奈川県信用保証協会

ホームページ <http://www.cgc-kanagawa.or.jp/>

横浜保証審査センター
TEL:045(681)7178

川崎保証審査センター
TEL:044(222)7811

湘南保証審査センター
TEL:0466(23)0792

県央保証審査センター
TEL:046(221)0633

相模原保証審査センター
TEL:042(752)0575

売上アップには新しいお客を 「街の個店を助ける」

組織ぐるみの、お店元氣UP術

「第一回 商店街活性化事業研修会」

県商連は七月十六日に、商店街活性化事業研修会を開催した。今回は個店経営のため「街の個店を助ける」組織ぐるみの、お店元氣UP術と題して、講師に全国で「ウルトラD」という個店のグループコンサルティンクを実践中の中小企業診断士、高橋幸司氏を招いて研修会を開催した。

参加者は四十名ほど集まり、質疑応答では自店のことをその場で直接相談するなど活気あるやりとりが行われていた。



講演のポイント

1、大事なことは「うぶ」。初心者向けの販売にも目を向けてみる

・お店の人は販売のプロであり商品のプロ。商品に成熟した販売を行っているの

で、「うぶ」な初心者である消費者に向けた販売をやりきれない場合がある。

・「その商品の初心者」で「うぶ」な人向けには素材や値段よりも、その商品がどういう時に必要かを説く。

・「うぶ」の対極にあるのが「成熟」。すなわち、ヘビーマスター向けの販売。

・どちらかの販売が良いというわけではなく、いずれもやり方があり、いずれも丁寧にならなければお客はつかない。

・「成熟」したヘビーマスター向けの販売は、競争が激しい。

・ヘビーマスター向けの販売は、ある意味「やり易い」が、「同業者とダブる」。

・しかし初心者向けの販売は、面倒で手間がかかるので、やる人が少なく競争力が低くて、市場が空いている状態。

2、非効率で手間のかかる仕事こそ「他店との差異を出せる」仕事。忙しくなってもやめない方がいい

・自転車販売店の事例…修理は丁寧に行うと、出張修理まで受け付けている。同業者の出店があり競争力が高くなってきたが、支持してもらっている。↓面倒な仕事でこそ、他店との差別化をはかれる

から。

・花屋の事例…どの花店でもやっている「花キューピット」。実際にお客に届けてもらう花屋に写真メールを送ってもらって、それをハガキに貼り付けて送り主に送る。↓面倒で手間がかかるが、送り主の心配を解消できる。↓支持につながる。他店が敬遠する仕事にこそ、何か突破口があるかもしれない。

賛助会員・推薦会社との交流会を開催 最新の商業統計調査結果をま じえ、交流を深める

県商連は、大型店などの賛助会員・推薦会社との交流会を、六月二十九日に神奈川中小企業センター大研修室で行った。

これは賛助会員・推薦会社の方々に、当連合会役員との交流を深めてもらうことはもちろん、賛助会費の使い道や、県商連の取り組み等々をお知らせするための交流会であり、年一回開催している。

今回は、神奈川県総務部統計課より斎藤章主査を招いて、県でまとめた十九年度の最新の商業統計の結果について講演会を行った。

市区町村別の集客力や、販売効率の比較などには話題が集まり、質疑応答をまじえて活発な意見交換があり、会は盛況のうちを終了した。

財団法人神奈川県中小企業振興財団 高齢者福祉増進事業

楽介護ネットワーク神奈川

運営：NPOはあとけあ

介護分野を中心に様々な相談・支援をいたします。
介護相談ダイヤル

0570-065-110

(平日:AM10:00~PM5:00まで 相談無料・通話料自己負担)

電話相談
地域イベント
割引制度
etc

介護サービス
葬儀
遺産相続
etc



川崎市商連に新しい風 尾澤良二新会長に聞く

川崎市商連ではこの五月に役員改選があり、新会長として中原区の尾澤良二氏が就任することとなった。(和田義盛前会長は相談役に就任) 尾澤会長に新会長としての抱負など、川崎に対する思いを聞いた。



『いま、川崎の商業はどんな環境にあると感じていますか?』

以前からよく言われていることですが、川崎市というのは南北に細長くて、川崎駅や武蔵小杉、溝ノ口、新百合ヶ丘などの商業集積地が横に並んでいるという、串団子のような状態です。その上、鉄道の路線は市を縦断していて住民は東京や横浜へと買い物に出かけてしまうという、消費者の流出に悩んでいる地域なのです。

そこへ川崎駅西口の再開発があり、ラゾーナ川崎が出来て川崎駅周辺の商業環境は一変しました。今まで他の地域に流出していたお客さまが川崎に買い物に来てくれるようになりました。

状況はある程度緩和されたと言えるでしょう。しかしそれが一般の商店街や個店の活性化に繋がっているとは言えない状態です。

『その中で川崎の商店街はどんな環境にあ

ると感じていますか?』

川崎市は公共のインフラが整い、地域の住民の所得も高いと言われています。そういった地域住民の方々に、いかに地域の商店街へと足を向けて頂けるにかかっていると思います。

旧来からの商店街と、再開発の進む地区とがバランスよく発展していくのが理想ですが、現実はその簡単ではありません。

しかし、悲観ばかりしては先細りしていくだけです。地域の魅力を高めて行けば必然的にお客さまもお店も増えていくはず。

これからのことを真剣に考えねばならない時期に来ているのだと思います。

『川崎市商連をこれからどうしていきたいと考えていますか?』

会員からは常々、市商連に会費を払っているが自分にどんなメリットがあるのかという話が出ます。こうした「メリット論」が出てくるのは当然だと思います。

こんな時代だからこそ、私は市商連や県商連のような団体が必要だと思うのです。

市商連や県商連は単会のように事業を展開することはできませんが、単会や個店が事業を行う際にサポートしていくためのシステムや制度の構築など、上部団体としてそれぞれ独自に果たすべき役割があるので

す。昨今の世の中の流れは早く、人々は自分に合った価値観をなかなか見つけられないでいます。だからこそ、事業者は行政や世間に対し、きちんと発言していかなければならないのです。何も言わなければ、世間の趨勢に押し流されてしまいかねません。

今こそ、事業者が今置かれている状況や、解決していくべき課題などについて率直に

意見を言い、それを力にしてシステムを変えていく努力をしなければと思うのです。

『今後の川崎市商連では具体的にはどんな活動を考えていますか?』

とにかく、市商連がどんな活動をしているかを、会員の皆さんにきめ細かく伝えていく必要があります。

例えば、行政への要望活動については、通らなかつた要望についても結果と経緯をきちんと伝えていかねばならないでしょう。どうして通らなかつたのかを検証していけば、より良い道を見つけれられるはずですし、市商連の活動をより理解してもらえると思うのです。

また、市商連の会員に対しアンケート調査を行うことにしました。市商連に実行してもらいたい活動を、具体的に尋ねることにしたのです。

会長就任から三ヶ月。今は暗中模索の真っ最中です。アンケートにご協力いただき、皆さんからの意見を集めて、川崎市商連のあり方をきちんと考えたいと思っています。

尾澤会長は、武蔵新城駅近くで、数年前まで靴販売店を経営していた。靴職人の家に生まれ二十五才で独立し、川崎で四十三年、販売人として町を見続けてきた。

壊れた靴は無料で修理し「あそこで買えば心配ない」と言わせる目利きと技術が売りだった。

「ご愛顧してくれたお客さまと、商店街の方々に可愛がってもらった恩返しが出来れば」と思い、会長を引き受けたという。趣味はクラシック音楽の鑑賞。鋭い目利きと販売人のセンスは、今も健在だ。

サツと 5分でつくれるミニチラシとDM集

とにかく手早く作りたい!

毎日毎日忙しくて、チラシやDMをつくる時間なんて作れない! なんていうアナタへ。

この本にはパソコンでも手書きでも、書き込んでそのまま使える図例がついていますので、

どなたでも手早くチラシやDMを作れますよ!

(6種類のミニチラシと、6種類のDMを収録)

会員価格 1セット 1,000円(送料別)
(内容: 本冊子[全42ページ]、原稿用カードセット)

お求めは県商連まで! 045-633-5184

「入船商興会」(秦野市)

——商店街イベントを地域の皆で開催、 12年のロングラン——

「商店街は、地域コミュニティの担い手」という言葉をよく聞くようになってきた。しかし、商店街は元々人が集う場所、地域の中にあるものだから、そこでは自然にコミュニティが育まれてきた土壌がある。

秦野駅近郊の幹線道路沿いにある入船商興会は、大きな商店会ではないが、地域住民や大型店と一緒にイベントを開くなどして良い関係を構築している。

◎毎月開催のイベント、その名も「あ金土市」

入船商興会の名物イベントとなっているのが「入船あ金土市」だ。あきんどいち、と読む。毎月の最終週の金曜日と土曜日に開催されるもので、各店での売り出しセールと土曜日の朝市の二本立ての内容である。

オーソドックスなイベントかもしれないが、これは何と十二年も続いているロングランのイベントなのだ。

朝市は会員店舗前の広場を利用し、お店の商品を特売したり、地元秦野産の野菜を販売するなどしている。縁あって出品している福島県養鶏農家の温泉たまごなどは、イベント開始当初——十二年前からの定番商品であり、毎回ファンがついているということだ。

他にも近隣の主婦が手作りジャムを販売したり、すっかり地域に根付いたイベントだと言える。

最近では「朝市スタンプカード」も始めた。これは朝市での買い物でもらえるスタンプ

を集めると、各店で普段の日に商品券として使えるというものだ。

「イベントに来てくれるお客さんたちに、普段の日にいかにご来店いただくか、日夜考えているんです」と、会長の林邦男さんが話してくれた。

◎地域発の「イベント協力会」

商店会では、他にも二つのイベントがある。七月頃に行う、現金二万円が当たる抽選付きセール「キャッシュバックセール」と、八月頭の縁日風のお祭り「サマーフェスティバル」である。

毎月のイベントと二つのイベント。これらをどうやって回しているのか。実は……と林さんが話してくれた。

商店会を手伝ってくれる「イベント協力会」という若手会が存在するのである。メンバーは、若手商業者に加え、三十代から四十代ぐらいのサラリーマン。まさに強力な助っ人たちだ。

「あ金土市」を始め、三つのイベントで

も全部彼らが会場設営などの裏方を手伝ってくれている。その働きは、彼らがいなければイベントを開けないほどだ。

彼らの正体は、地域にある子供会の父親たちである。十二年前「あ金土市」が始まった頃からの付き合いだ。

商店会の店主たちにとっては、子どもが同じ学校に行っていて、顔も名前も知っている身近な人たちである。「何か面白そうだから、と手伝ってくれるようになったのかな」と林さん。

彼らの子供会のキャンプに、商店会のメンバーが参加したり差し入れを持っていったりしたこともあったという。彼らが、地域のイベントだからと、商店会を手伝ってくれるようになったのは、まさに自然な流れだったのだ。

◎地域に関わる人たちは、みんな仲間

商店会には、他にも協力者がいる。通りの中にあるジャスコ・イオンと、パチンコ店などの大型店等の賛助会員だ。



彼らは、場所を貸してくれたり、イベントの景品代を出すなどして協力してくれ、商店会と非常に良い関係が出来ている。

ジャスコの店長、副店長と懇親会を毎年開いている。林さんは「十数年前、出店する前は反対運動をしたんですけど。いざ出店すれば、もう地域の仲間ですからね」と苦笑。

店長はよく変わるが、商店会のことにはどの店長もきちんと対応してくれるそう。ジャスコで縁日のイベントがあるときには、商店会にも出店してみないかと声を掛けてくれるし、年二回広い催事場をイベントスペースとして貸してくれている。これは、店長とのコミュニケーションの賜物ではないだろうか。

商店会は地域の協力者のおかげで長くイベントを続けることが出来ている。それは商店会メンバーが高齢化して活動の担い手がいないということの裏返しでもあるのだ。が、地域の商店会を皆で守っていくという良い流れでもあるのではないだろうか。入船商興会は、確かに地域コミュニティの核として機能している。

DATA

入船商興会

所在地：秦野市寿町2-12

会員数：45店

電話番号：0463-82-9259

戸塚の新名物、登場！

かき氷「とつか とっぴんしゃん」

（女子大生と商品開発プロジェクト）

「食によるまちづくり」が元気だ。今年の夏、戸塚では地元素材を使った新名物が誕生した。かき氷「とつか とっぴんしゃん」だ。

梅風味とコーヒー風味の二種類があり、戸塚駅前の戸塚駅東口ラピス商店会にある、純喫茶モネで七月～九月末までのメニューとして味わうことができる。

梅風味の主役は地元農家「かねこふあーむ」の梅ジュース。コーヒー風味はモネ特製の珈琲ゼリーとアイスコーヒー、地元メーカー「横浜銚子屋」の小倉餡と黒蜜だ。

韓国のかき氷「パッピンス」からヒントを得たこの「とっぴんしゃん」はいずれも特大サイズで七百二十円と高額だが、各種マスコミに取り上げられ、客足も好調だという。



左が梅風味、右がコーヒー風味。大変美味しく頂きました。

『戸塚☆新名物』は地域タウン紙から

「とっぴんしゃん」は、戸塚のタウン情報紙「きてみくな」から生まれた。

この情報紙は、商店主や学生などで行く地域活動団体「戸塚フリーステージ実行委員会」が発行するもので、近郊の明治学院大学の学生たちも編集部員として何人も加わっている。

その中で「戸塚発のスイーツが食べたい」と「戸塚☆新名物」開発プロジェクトの企画が持ち上がったのだ。

女子大生を主にしたメンバーたちは何回も試食を繰り返し、消費者目線での商品開発を手がけた。その過程は「きてみくな」紙上でも取り上げられ、期待感を盛り上げていった。

完成後も彼女たちは「ソフトクリームと梅の組み合わせって新鮮。ヨーグルトみたいで美味しい」と紙面上でアピール。女子大生のお墨付き、と魅力を後押ししている。

『活動を広げる、とつかぞく』
彼女たちも加わる「とつかぞく」は、横浜市の地域経済元気づくり支援拠点として認定され「きてみくな」の紙面づくりを通して戸塚の魅

力アップに取り組んでいる。

地元農家で採れた野菜を、地元の飲食店で新メニューに仕上げる企画も好評。読者からは「他のタウン誌にない地域密着の情報がある」との声が寄せられるほどだ。

とつかぞく代表で純喫茶モネの店長、片山大蔵さんは「まちづくりに言い訳や屁理屈を持ち込むと、それだけで終わっちゃうでしょう？」と、非常に前向きだ。

「きてみくな」は様々な人たちが文章を書き、刷り上がったものは、皆で手配りする。制作活動は手間がかかるがその分やりがいもリターンも大きい。活動は戸塚商連を含め戸塚全体へ広がっている。

今後も戸塚から目が離せない。

「岡野誠一氏の県民功労者表彰を祝う会」が盛大に開催



岡野副会長が県民功労者表彰を受賞されたことを記念して、7月24日に横浜駅前のホテルキャメロットジャパンで開催されました。

県商連 推せん会社

商店街の活性化をお手伝いします！

お客さんにオリジナルの景品を差し上げたい！

ハルティ・記念品

(株)アイエンス

0463-82-7511

街内を装飾やバナー・のぼり・幕などで盛り上げたい！

ディスプレイ・看板

(株)五光W小田原店

0465-24-1255

街路灯をつけたり、今ある街路灯を修理したい！

街路灯

(株)サンライト中央

045-332-5301

アーケードをリニューアルしたい！

アーケード

(株)日米アトム

03-3260-5131

街路灯をつけたり、今ある街路灯を修理したい！

街路灯

日本街路灯製造(株)

03-3471-6842

防犯カメラを付けたり、セキュリティ対策をしたい！

防犯カメラ

(株)日立ビルシステム

045-651-2712

商店街を綺麗に舗装したり、舗装を修理したい！

道路整備

前田道路(株)

045-662-4121

チラシやパンフレットの印刷、ホームページ制作など！

印刷

(株)ポートサイド印刷

045-776-2671

進化していくコラボレーション

●商店街支援事業レポート「1」

【登戸東通り商店会】

八月二十九日に行われるナイトバザールの打合せがあると聞いて、様子を伺いにいくことにした。今年初めてのナイトバザールを見学してから早二ヶ月がたち、すっかりご無沙汰してしまった登戸東通り商店会。六月に開催したナイトバザールは大盛況だったと聞いている。

集会場に到着し、まず、その人の多さに驚く。前回出席者の二倍はいるだろうか、その後もばらばらと集まり、総勢二十三名もの出席者になった。今回は、連携をしている明治大学本所先生の紹介で、いつものゼミ生の他に、サルサダンスのサークルと地域振興に興味を持つサークル 41-products が加わった。

会議では、ナイトバザール当日のイベントスケジュールの整理が行われた。いろいろな団体が各々持ち寄ったものの企画をまとめ上げる江藤会長。会長をはじめ商店街役員の方のパワーがイベント全体の活気に反映しているように思う。ナイトバザール三十三回の歴史の重み、安全への配慮、それでも各団体がやりたいということを最大限引き出してあげようという姿勢に商店街の懐の広さを感じる。白熱した議論が続く。

明治大学の学生たちも（三回目ということもあって）ポスターデザインや印刷などの打合せも手馴れたものだ。学生が手探りで見つけてきたやり方を、新しく加わった

学生に伝えていく。人が入れ替わっても、ノウハウが出来れば滞りなく事業が進められ、またそのノウハウが伝えられることで新たな学生も参加しやすくなるという循環が生まれている。

また、違う流れも生まれていた。地元の方々に地域の素晴らしさを再発見する機会をもってもらおうと、NPO団体ぐらす・かわさき 41-products が協働で「地域産品カレ」をナイトバザールに出品する。地域の農産物を使ったカレを提供したいという学生たちの企画を、リユース食器の導入や、地域農家との架け橋等でぐらす・かわさきが手助けをする。ナイトバザールで生まれた交流が、新しいものを生み出し、地域を考える交流の場に変わりつつある。

（井上光希子）



教えて！ 身近な税務相談③

Q 青色申告をするといろいろな帳簿を作成しなければならず経理の手間が増えるというので当社は現在白色申告をしています。しかし先日友人の社長から青色申告のメリットが大きいし、会計ソフトを利用すれば面倒な振替伝票の作成も必要ない旨を聞きました。このまま白色申告を続けるべきでしょうか、それとも青色申告を行うべきでしょうか？

A 白色申告に比べ税金が安くなる場合が多いので青色申告をお勧めします。また、最近の会計ソフトは値段も安く操作性も良いので、手書きで帳簿を作成していた以前と比べるととても簡単に各種帳簿を作成できる環境になっています。

青色申告の特典

青色申告制度は、「きちんと帳簿をつけている会社は税金を安くしますよ」という制度です。青色申告をすることによる代表的な特典としては以下のようなものがあります。

●欠損金の繰越控除●

今年黒字であっても、過去7年間の赤字分の税金は払わなくて良いという制度です。例えば、過去の赤字額の合計が1000万円あれば、今年1000万円の黒字だとしても税金を払わなくて済みます。白色申告の場合は今年1000万円の利益が出た場合、過去いくら赤字が出ていても400万円の税金を払わなければなりません（税率40%の場合）。

●欠損金の繰戻し還付●

黒字の次の年に赤字だった場合には、黒字の年に払った

税金を返してくれるという制度です。白色申告の場合は返してくれません。

●少額減価償却資産●

30万円未満の資産を購入した場合には、すべて経費で落とすことができるという制度です。ただし、1年間で300万円が限度となります。

帳簿作成の手間はあまりかからない

帳簿を作成するのに手間がかかるイメージがあるのは「振替伝票を手書きで作成しなければならない」という思い込みがあるからではないでしょうか。

振替伝票を手書きで作成してから、その振替伝票を見ながら会計ソフトに入力している会社が未だに見られます。手書きで振替伝票を作成しその振替伝票を見ながら会計ソフトに入力する事は二度手間です。

ではなぜ手書きで振替伝票を作成している会社が多いのでしょうか？

振替伝票を手書きで作成するのは、過去に手書きで帳簿を作成していた時代の名残ではないかと思えます。手書きで帳簿を作成する場合には振替伝票が必要になってきます。しかし、現在の会計ソフトを利用すれば手書きで振替伝票を作成する必要はありません。通帳や領収書を見ながら会計ソフトに入力すれば各種帳簿は作成できます。



（公認会計士・税理士・行政書士 河野貴浩）

商店街への加入促進の動きを追う

『全国展開企業等へ、県から文書を送付』

県商連でも昨年条例施行後に全国展開企業への訪問依頼等を行いました。神奈川県は「神奈川県商店街活性化条例」の施行から一年が経ったのを契機に、県内に出版している各大型店・チェーン店の本社、百七十三社に対して、商店街活動への参加・協力と呼びかける県知事名の文書を六月十九日に送付しました。

内容は、条例にあるとおり商店街が地域コミュニティの核として、県民生活に重要な役割を担っていることを踏まえ、傘下のフランチャイズを含む各店舗に本条例の趣旨の周知と、商店街組織への加入促進について特段の配慮をしていただくよう呼びかけるもの。

合わせて、皆さんの商店街でも勧誘活動を活発化させてみてはいかがでしょう。(※文書の送付先企業については、県商連にお問い合わせください)

『新しい商店街が増加中!』

戸塚区では、戸塚駅・東戸塚駅周辺で、新しい商店会を結成する動きが盛んになってきています。

戸塚区商連の山内会長によると東戸塚駅周辺には、今までこれといった商店会はなかったのですが、美容院などを経営する若

手商業者を中心となって「東戸塚商店街組合」が発足し、会員の募集を始めたとのこと。

フリーペーパーを共同で作っていて、そのノウハウを学びたいと、戸塚区商連のメンバーに相談があったそうです。

すでに商店会を作り、戸塚区商連に加盟している会長は「商店会をつくるまでは、何かイベントをする時でも、今までは行政はあまり動いてくれなかったが、商店会を作ってからよく支援してもらえて、すごく助かっている」と、いうことです。

『加入促進マニュアル好評です!』

県商連では、各商店街に会員拡大に努めてもらうための「商店街加入促進マニュアル」を作成しました。

新規で出店する店や既存店に対する勧誘活動の仕方を「計画をたてる」↓「実際に勧誘に行く」↓「結果を検証する」という流れに沿って解説しています。

ぜひ、商店街の会員拡大事業にお役立てください。

※この「商店街加入促進マニュアル」CD-ROM付きで配布しております。ご希望の方は県商連事務局までご連絡ください。(〇四五―六三三―五一八四)

読者の皆さんへ

このコーナーでは、加入促進活動に取り組

む商店会の皆さんの声を取り上げて、応援していきます。皆さんの取り組み(会員が増えた、新しく大型店やチェーン店が増えた)等、うまくいっていることや、困っていることなどをお寄せください。取り上げさせていただきます。

県商連は六月二十三日に神奈川県へ公益社団法人への移行認定申請を行いました



八月末現在では、審査中で、答申・認定待ちの状態です。

公益社団法人に認定された後は、設立登記等の手続きを行い、公益認定前期間の決算承認総会等を開催いたします。現時点では十一月頃の想定となっております。またご案内をいたしますので、皆様どうぞよろしく願います。

(写真左:森雄一県商工労働部商業観光流通課長 右:和田義盛県商連会長)

エコカー減税、補助金といっしょにお得!

日産新車の購入キャンペーン続行中

日産の新車を購入された方は、ぜひ県商連にお知らせください。
1万円の商品券をプレゼントいたします!

みなさんにご協力いただいているこのキャンペーンも大好評です。商店街の会員店舗さんはもちろん、従業員さんやそのご家族でも適用になります。ぜひ、商店街会員の中で日産車を買われた方にお声をかけてあげてください。

(商店街さんには3,000円の手数料をお支払いいたします)
会員商店の方と、あなたの商店街がトクをしますよ!

※エコカー減税とは、環境対応のエコカーを購入すると減税を受けられる制度です。

※補助金は、今のっている車が車齢13年超えの場合、乗り換えで25万円(軽自動車は12.5万円)がもらえる制度です。

お問い合わせ・お申込みは、県商連事務局まで
別途申込書をお送りいたします。

TEL: 045-633-5184



NISSAN 横浜生まれ 神奈川県
We love KANAGAWA